

# 市民の声・ちまたのニュース

第23号

2019年12月22日  
 日本共産党根室市委員会  
 根室市宝林町4-203  
 TEL 23-6023  
 FAX 24-1684

## 故中村哲さんご遺骨ノーベル平和賞にふさわじう！

最も貧しい国の一つアフガニスタンで「真の人道支援」を30年余、文字通り命を賭けて続けた中村哲さんが何者かの銃弾で倒れました。彼の死は、アフガニスタンの人々だけでなく、平和を求めるとして世界の人々の心の中に悲しみと衝撃を広げています。彼を死に追いやったのは、戦争をしたがり、戦争にしたがる勢力「哲学者西谷修氏」です。彼こそ憲法第9条の真の実践者であり、ノーベル平和賞にふさわしい人ではないでしょうか。

### 九条の「本物の実践者」

九条の会の呼びかけ人の一人であった故井上ひさしさんは中村哲さんを「世界でもっとも貧しい国で、自分の持っているものすべてを注いでその国のために尽くしている」とよく講演で尊敬の念をこめて紹介していたそうです。

以下の文章は、「しんぶん「赤旗」毎日版」12月6日付潮流より転載です。

ハンセン病をはじめアフガニスタンでの献身的な医療活動をつづけてきた中村哲さん。

支援地に向かう途中で銃撃され、現地では



無差別な犯行への怒りと「真に友人」を失った悲しみが広がっています。

その実情を知り、住民がほんとうに困っていることに手を差し伸べる支援。丸腰のボランティアの信念は医師の粹をこえました。水不足によって多くの命が失われている現実を前に、白衣を脱ぎ、メスをレバーに代えて大地の医者には、

1600もの井戸を掘り、全長30キロ近い用水路をひらき、不毛の地は広大な農地となって数十万人の人びとに恵みをもたらしました。命を奪う地雷を命をつなぐ掘削に利用して、「ゼンダバード」（万歳）の歓喜は

各地であふれました。

「有害無益」。2001年、同時多発テロの報復として米国がアフガンに爆弾を落とし始めた時。国会に呼ばれた中村さんは、自衛隊の派遣に反対。十数年かけて築いてきた日本への信頼が、一挙に崩れさってしまつと訴えました。

大好きな昆虫に囲まれ、ファープルのような暮らしを夢見ていた中村さん。生きるものすべてに愛情を注いできた気骨の医師は世に問いかけます。「私たちが持たなくてよいものは何か、そして人として最後まで失ってはならぬものは何か」・・・

## 師走を向かえて

残された暦もあと一枚。しかもこのニュースが皆さんのところに届くころには、今年もわずか十日余りとなっているかと思えます。「光陰矢の如し」といいますが、筆者の年代になると毎年、毎年特に暦が早くめぐる感じがします。

今号では、師走についての歳時記などを少し書いてみました。

### 師走とは・・・

何時ものように「語源由来辞典」によれば師走は当て字。語源は諸説ある。正確な語源は未詳（まだはつきりしない）。師走の主な語源説として、師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す（しはす）」がある。

この説は、平安末期の「色葉字類抄（いろはじるいしょ）」に「しわす」の注釈として説明されている。



現代の「師走」と漢字の意味も近く、古い説であるため有力に思えるが、「師馳す」説は、民間語源で、この説

を元に「師走」の字があてられたと考えられる。その他「年が果てる」意味の「年果つ（としはつ）」が変化したとする説。「四季の果てる月（としはつ）」からとする説。「一年の最後になし終える」意味の「為果つ（しはつ）」からとする説などがある。など諸説があるように

あつて、次第に丁寧に出来なくなり、如何に手を抜いたものにするかが考えどころ。電動の大掃除グッズを購入しましたが、高いところまでコードや掃除用のノズルを上げ下しが大変。今年は浴室洗用、伸縮自在で先にフワフワ洗いのグッズと重曹を使い掃除時間の大幅短縮。大掃除の他に何かと追われている吾輩を横目に我が愛猫は、ぐっすり昼寝。

吾輩も猫になりたい  
 師走かな  
 掲載誌いろいろより  
 作者 落合由季女

### 神忠志の勝手気ままな料理教室その16

#### タラときのこのマヨネーズ

2人前クックパッド）  
 タラ2切れ、4切れを水洗い後キッチンペーパーで水気をとる、ピニール袋に塩こしょう、醤油少々やさしくも

み冷蔵庫へ  
 しめじ、玉ネギ、人参を食べやすい大きさに切りレンジへ同時に重ならないように、のタラもチン3、4分

容器から取り出さないでおくと余熱で中まで火がく耐熱皿にオイルを塗りタラの上にやさしいをのせ、マヨ

ネーズを適量かけ、とろけるチーズをたっぷりかけてトースターかオーブン魚焼き器でもで焦げ目がつくまで焼く

取り出して小ネギなど添え完成

